

平成22年度「厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業」

3班合同・公開シンポジウム「難病・希少疾患を理解し克服する」

新宅班打合せ会議 議事録（案）

【日時】 平成23年2月27日（日） 12時20分～13時20分

【会場】 帝京大学講堂本部棟4階、第2会議室

住所：東京都板橋区加賀2丁目11-1

【出席者】 新宅治夫、服部英司、藤岡弘季、佐久間悟、武田泰輔、二宮英一、楠根佐緒里（以上、大阪市立大学）
瀬川昌也、野村芳子（以上、瀬川小児神経学クリニック）、加藤光広（山形大学）、
浜野晋一郎、菅谷ことこ（以上、埼玉県立小児医療センター）、久保田雅也（国立成育医療センター）、
遠山潤（西新潟中央病院）、夏目淳（名古屋大学）、松石豊次郎、渡辺順子（以上、久留米大学）
患者会5家族7名、稲塚（取材 他1名）

（1）シンポジウム第2部について

① 難治性疾患克服研究事業における小児神経伝達物質病の戦略的意義（新宅）

発表内容最終確認及び意見交換

② 瀬川病の病態におけるドーパミンとセロトニンの役割（瀬川）

発表内容最終確認及び意見交換

③ AADC欠損症の臨床症状（加藤）

発表内容最終確認及び意見交換

④ SSADH欠損症の臨床症状（夏目）

発表内容最終確認及び意見交換

（2）シンポジウム第4部 患者家族会について

① AADC欠損症（山田）

発表内容最終確認及び意見交換

② SSADH欠損症（久保田）

発表内容最終確認及び意見交換

③ メンケス病（田中）

発表内容最終確認及び意見交換

小児神経伝達物質病の診断基準の作成と
新しい治療法の開発に関する研究報告書

平成23年3月

主任研究者

所 属 大阪市立大学大学院

部 署 医学研究科発達小児医学

住 所 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

氏 名 新宅 治夫

